

G7 開発大臣会合

G7・G5 サヘル・パリ共同コミュニケ（仮訳）

（2019年7月4日 於：仏，パリ）

1 2019年7月4日、パリにおいて、我々、開発協力を所掌するG7各国の大臣及びEU国際協力・開発担当欧州委員は、G5サヘル加盟国であるブルキナファソ、チャド、マリ、モーリタニア及びニジェールの大臣らとこのような形式で初めて会合した。サヘル地域における差し迫った事態を考慮し、我々は次の行動を承認した。

サヘルにおける長期的な課題と脆弱性

2 サヘル地域の社会的・経済的機会を解放するため、また、不安定の根本原因に対処するために、強力な行動が求められている。特に若者・女性の経済的な展望と雇用の欠如、資源、保健システム及び司法、栄養、教育、社会的保護等の基礎的サービスへの限られたアクセス、並びにガバナンスの弱さを含む、喫緊の課題への対応が依然として必要である。いくつかの長期的な傾向は、これらの課題の複雑性と人々の脆弱性をより深刻化させるものである。現在の人口増加率では、サヘル地域の人口は2040年までに倍増するであろう。増大する不平等－機会の不平等、土地の不平等、ジェンダー不平等、女性のエンパワーメントの不足－は、危機・紛争が発生し得る温床となる一方で、地域の人材及び経済の潜在力の大部分を奪うおそれがある。G5諸国における総雇用の83%が食料関連業界と関連しており、気候変動、砂漠化、環境悪化及びエネルギー・アクセスの欠如を含む複雑かつ喫緊の地球規模課題により、人々の脆弱性が深刻化する恐れがある（経済協力開発機構（OECD）／サヘル・西アフリカクラブ）。

3 この状況下では、第一にサヘル諸国によるガバナンス向上と国内資金動員の推進、歳出の増加、及び差別なく全ての者に質の高い基礎的サービスを提供するための組織能力を強化するための強い行動、そして第二に、国際社会による、これらの取組を支えるため、より強化され一貫性のある連携した支援のための強い行動が求められる。

サヘルにおけるパートナーシップのための更なる一歩

4 サブサハラ・アフリカ及び国際社会に対し、サヘル地域の開発と安定の構造的な重要性を強調することにより、我々、G7 及び G5 サヘルは、サヘルにおける脆弱性、不平等及び貧困の根本原因に対処することを助けるため、国際社会の強いパートナーシップ及び連携した行動を求める。我々は、G7 が G5 サヘル諸国の受け取る政府開発援助年間総額の半分を提供していることから、鍵となる、G7 と G5 サヘルとのパートナーシップを強化することにコミットする。我々はまた、市民社会及び出身国におけるコミュニティの総合的な発展のために重要な役割を果たすことができる、海外移住者等の他のステークホルダーの重要性を認識する。

5 我々、G7 及び G5 サヘルは、主要国際機関及び金融機関に対し、サヘルにおける取組を強化するよう求める。我々は、特に、世界銀行グループ (WBG)、国連開発システム、アフリカ開発銀行及び経済協力開発機構の果たす重要な役割を強調する。我々は、G5 サヘル諸国におけるものを含む脆弱性への対処のために強化した焦点を当てている、国際開発協会 (IDA) 第 19 次増資及びアフリカ開発基金第 15 次増資の成功に強い支持を表発表する。

方法の変更：サヘル同盟、人道・開発・平和の連携、能力構築と国内資金動員によるオーナーシップ

6 我々、G7 及び G5 サヘルは、開発パートナー、国際機関及び金融機関が、地域及び地方レベル

で G5 サヘル諸国と緊密に連携し、また、G5 サヘル諸国がその治安・開発戦略及び 2019-2021 年優先投資計画（PIP）を通じて定めた優先事項と整合するよう、その行動及び現場における介入手法を連携させる必要性を強調する。我々は、ドナー及びパートナー国間で行動を調整し観察する革新的な枠組みの一例として 2017 年に設立されたサヘル同盟を通じた取組を歓迎する。我々は、本日、全ての G7 メンバーが、加盟国またはオブザーバーの資格でこの同盟に参加していることを喜んで宣言する。

7 我々は、人道・開発・平和の連携と完全に一貫性のとれた包括的アプローチを取り、かつこれを進化させる必要性を認識している。G5 サヘル諸国の目標は、開発・安全保障双方の戦略に及ぶものであり、我々は、G7-G5 サヘルパートナーシップの付加価値を強調する。我々は、サヘルにおいて緊急に必要とされる人道上のニーズが満たされていないことに留意し、緊急プログラムのための資金拠出について国際的な責任分担を求める。我々はまた、この地域の不安定さによる現在進行中の影響及び暴力の根本原因に対処する必要性に留意する。

8 我々、G7 及び G5 サヘルは、国内機関による更なる主体性が極めて重要である旨を強調し、それらの任務遂行を支援するため、国内及び地方機関の能力構築支援を強化することにコミットする。我々、G7 及び G5 サヘルは、サヘル諸国における国内資金動員、財政支出の効率性、及び公的財務管理を強化する重要性を強調する。我々は、この財政に関する一連の行動において、サヘル諸国において動員を強化するよう開発パートナーに求める。我々は、低所得国向けのファシリティ及び IMF 支援プログラムのデザインとコンディショナリティの見直しの結果に基づいて、低所得国、特にサヘル諸国において、国際通貨基金（IMF）のプログラムがこれら一連の政策行動をどのように支援す

ることが可能かという点に関して、IMF と協働を続ける。これらの成果は、譲許性のある資金調達へのアクセスの増加及び IMF プログラムの柔軟性を高めること、また、ケース・バイ・ケースでより長いプログラム期間を設定する機会も含め、IMF プログラムを各国特有のニーズに合わせることを目的としている。我々は、IMF 及び WBG に対し、税に関する協働のプラットフォーム及びアデイス税イニシアティブ等も含めた他の開発パートナーと協働することを通じて、サヘル及び他の低所得国において、それら機関の取組を各国の特有の事情に合わせることにより、税制能力構築及び公的財務管理を支援するための取組及び連携を強化するように求める。我々はまた、IMF-WBG による、新たな債務脆弱性に対処するための多面的アプローチの更なる実施のための我々の支援を再確認する。

人間開発における意義のある前進

9 我々、G7 及び G5 サヘルは、成長のための強力な手段として、また、人口ボーナスを活かすための解決策として、人間開発分野－栄養、食料、教育、保健システムへのアクセス及びジェンダー平等及び女性のエンパワーメントを含む－における更なる投資の必要性を認識している。

10 この点において、我々、G7 及び G5 諸国は、

－人間開発分野において、女性及び女兒のエンパワーメントに強い焦点を当て、財政支出を実質的に増加する必要性を認識する。

－人的資本の成果を加速させ、世界銀行の人的資本指標を向上させるとのコミットメントを示唆する、ブルキナファソ、チャド、マリ及びニジェールによる世界銀行の人的資本プロジェクトへの参加のイニシアティブ、並びに、モーリタニアによる同プロジェクトへの固い参加の意志表明を歓迎

する。

－国際機関及び金融機関に対し、サヘルにおいて人間開発分野での活動を強化するよう求める。特に、我々は、サヘル地域に特化した取組も含め、アフリカにおける人間開発への資金調達を 2021 年から 2023 年までの間に 150 億米ドルにまで増加させることを目指す、世界銀行のアフリカ人的資本計画への強い支持を表明する。

－女性のエンパワーメントそして特に女性起業家支援が優先課題であることを認識する。我々は、女性起業家資金イニシアティブ (We-Fi) やアフリカ開発銀行によって立ち上げられたアフリカの女性のための積極的金融アクション (AFAWA) 等、この分野の既存のイニシアティブを支持する。

－栄養を保健システムの中に位置づけることを強化し、及び栄養に直接的に資し、強靱かつ持続可能な食料システムの推進等の構造的アプローチを通じて、全ての形の栄養不良への取組を加速化するため、我々及び他の関係するステークホルダーとの協力を前進させることにコミットする。来年の東京での栄養サミット開催は、鍵となる行動を特定するための極めて重要な契機となる。我々は、分野横断的取組を促進し、政治的リーダーシップの喚起の一助となる、栄養不良改善のための栄養スケールアップ (SUN) ムーブメントを支持する。我々、G5 サヘル諸国は、多分野にわたる国家栄養行動計画の実施を加速化させる。我々、G7 は、マルチ・ドナー・アプローチ等を通じて、地域における栄養対策のための我々の行動の一貫性を向上させる。

－食料不安を根絶するため、適切な雇用の創出によることも含め、貧困の根本原因に対処する必要性を強調する。我々、開発を所掌する G7 の大臣及び G5 サヘル諸国の大臣は、サヘル農村地域の若者のための適切な雇用創出に関する G7 食料安全保障作業部会の枠組みを歓迎する。我々、G5 サハ

ル諸国は、パートナーである G7 とともに、農村地域の若者の失業の要因に取り組むため協働する。

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成に向け前進するための礎としてのプライマリー・ヘルス・ケアに焦点を当てながら、全ての国における保健システム強化を推進することにコミットする。我々は、保健に対する財源を拡大することを支持し、また、サヘル諸国に、アフリカ連合の「行動要請」に沿い、特に保健従事者の雇用を創出するため、プライマリー・ヘルス・ケアへの予算配分を増加させることを奨励する。我々は、女性及び女兒の福祉を向上させることにコミットし、ワガドゥグ・パートナーシップ等の地域パートナーシップを通じ、サヘル地域における潜在的な社会・経済利益に貢献する。我々は、フランスが 2019 年 10 月 10 日にリヨンにおいて主催する世界エイズ・結核・マラリア対策基金の第 6 次増資会合の成功を支持することにコミットし、2020-2022 年の間に、強靱かつ持続可能な保健システム (RSSH) の構築等を通じて三大感染症対策のために少なくとも 140 億米ドルの資金を集めることを目標とする、

11 G7 と G5 サヘル諸国との強いパートナーシップの付加価値を確信し、地域が直面する長期的な諸課題についての共有された理解に基づき、相互の説明責任及び責任の精神の下、サヘル地域の若者に希望と機会を提供するため、我々は、今後数年の間、共に取り組み、また、全ての関係する多国間機関と連携する用意がある。